



医療安全管理室

発刊 2024年10月 VoL.52

## 医療安全推進情報 広報「安進くん」

## &lt;医療安全管理研修会&gt;

安全文化の醸成!

## 【第1回医療安全管理研修】

6月27日～7月15日の期間、セーフティープラスにて動画による医療安全管理研修を実施しました。視聴率は全職員数880名に対し、視聴者数は864名で98.0%の視聴率でした。なお、看護部、コ・メディカル、委託業者は100%でした。

内容1:「令和5年度 インシデント報告+α」医療安全管理室長 菅本祐司副院長

内容2:「患者様の「声」とその対応」コンシェルジュ室(専従)中野美起子副看護部長

アンケート回答率は69.8%でした。(全職員663名に対し463名の回答)「ヒューマンエラーはなくなる」というテーマでインシデント報告をすることの重要性を再認識できた、医療メディエーションについて興味深く聴けた、医療メディエーションの重要性を学ぶことができたなどの意見が聞かれました。次回、11月頃に第2回医療安全管理研修会を予定しています。全職員100%の視聴を目指しましょう。

## &lt;医療安全活動&gt;

## 【ISBARC研修会】

【日時】令和6年7月18日(水)17時45分～18時45分

【場所】沼津市立病院 2階講堂

【研修テーマ】良好なコミュニケーションが患者の安全を守る

—ISBARC(SBAR)を使って報告してみよう!—

【講師】秦まき皮膚科部長

【内容】講義+ISBARC+事例演習+グループワーク

【参加者】研修医8名・看護師20名・コ・メディカル8名・事務2名 計38名

【研修目的】ISBARCを活用しタイムリーに相手が理解出来る情報伝達がおこなえる

【研修目標】1. 講義を通してISBARCコミュニケーションツールについて学ぶ

2. 演習をとおして、ISBARCによる報告ができる

【アンケート結果】

1. ISBARCの報告ツールは理解できましたか?

① よく理解できた 35名 ② まあまあ理解できた 3名

2. 今後の仕事に役立つと思いますか?

① とても役立つ 37名 ② まあまあ役立つ 1名



## &lt;手術室における安全確認&gt;

医療は侵襲的な手技や処置が多く、安全で安心な医療を提供するためにチームとして取り組んでいることが数多くあります。今回は手術室に患者さんが入室し、麻酔導入前に行われている【サインイン】について紹介します。

【サインイン】とは、担当科医師・麻酔科医師・看護師が、患者とともに氏名、生年月日、手術部位とマーキング、アレルギーの有無、身体装着物や貼付物の除去、気道確保時のリスクの有無、手術に必要な器械の準備、インプラントがそろっているかなど、みんなで声を出し合い確認作業をすることです。これは、患者の取り違えや、術式・手術部位間違いなどの事故を未然に防ぐことを目的としています。麻酔導入後は患者さんが眠ってしまうため、麻酔導入前に患者本人を含めた確認作業がとても重要になります。これらの確認項目は、WHOの『安全な手術のためのガイドライン』に沿って作成されています。

また、【サインイン】以外にも、執刀開始直前の【タイムアウト】、閉創前の【サインアウト1】、手術終了時の【サインアウト2】などがあります。入室時から退室時まで何度も重複した安全確認作業を行なうことで、手術室での事故防止に努めています。

サインインの様子

